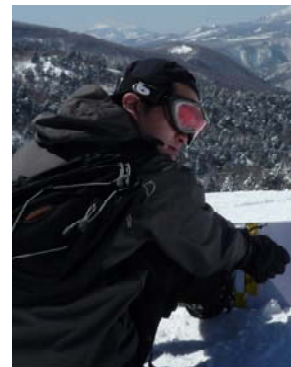


室員紹介 ～第五回 岡野係長～

総合政策局参事官室（総合交通体系）

調整係長 岡野 雄司

- ① 出身地：東京都青梅市（青梅マラソンが有名なあの青梅市です。）
- ② 趣味：写真、スキー・スノーボード、温泉巡り（どちらかというと、最近は温泉巡りのほうがメインになってきてしまいました。）



平成22年4月に着任し、山崎課長補佐（室員紹介（第三回）に登場）のもと、室内における予算のとりまとめや各種庶務等の総括事務を担当しております。

先日、とあるバスのベテラン運転手さんとお話をする機会があり、その中で、「長く乗務していると、自分の運転するバスに乗って通学する子どもたちが小学生から中学、高校、大学、社会人へと成長してゆく様子が見られるんだよね。」と話してくださったことが強く印象に残りました。

その子どもたちにとっても、そのバスは自身の成長に伴うさまざま思い出に密接に繋がる存在なのだろうな、ということ、その話を聞いたときにふと思いました。

このようなことには、多かれ少なかれ誰しも思い当たる節があると思います。学生時代に通学で利用したバスや電車であったり、遠距離恋愛の恋人を見送った空港であったり、また、公共交通機関でなくとも、長年車で通った道を通るときなど、そのときどきの思い出をふと思い返してしまうようなことがあるのではないのでしょうか。

私自身も、たまに電車で実家に帰るときなど、昔、通学で利用した区間にさしかかると、窓外の光景を見るにつけ、そのときの思い出がなつかしさとともによみがえってきます。

当室の担当している総合交通体系に関する業務では、時間や距離などの客観的な指標に基づく分析などを行っておりますが、その背景には、そのような人々の思いも確かに存在しているのだと思います。

稚拙なことをつらつらと書いてしまいましたが、というようなことなどもたまには考えながら、総括事務を担当する立場からではありますが、業務に携わってまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。